

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			株式会社シンパクト																			基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営者は、会社の理念とケアポリシーを従業員に説明し共有している。 ・毎年法人のテーマを掲げ、それに向けて、各部署でテーマや取組みを話し合い実践している。								8	9										17																		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定とマニュアルがあり、入職時のオリエンテーションで説明している。 ・全体研修や朝礼時等、随時、従業員への啓発を行っている。																	16																				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社が公正な介護事業所であることの重要性を全従業員に発信している。										10							16																				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・苦情に対しては相談窓口(担当)を設けている。 ・当事業所の活動が社会・環境に繋がる可能性を把握している。																	16																				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除については全社員に対して発信している。								8.2 8.3	9								16																				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・入職時のオリエンテーションにて重要性を説明している。 ・日頃から個人情報の大切さを発信し、情報漏洩対策に取り組んでいる。																	16																				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的なアンケートや日頃の会話(意見や苦情など)を大切にしている。 ・家族会や認知症カフェ・共同研修などを行っている。																16	17																				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17																				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・自然災害や事故に備え、BCPを策定し、年に2回の避難訓練を実施している。 ・BCPマニュアルを作成し、必要に応じて見直しを行っている。									9		11		13.1			16	17																				
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17																			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17																			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件や職場環境等において差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。 ・ハラスメントマニュアルを作成し、従業員の周知に繋げている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7																					
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を設置し取り組んでいる。 ・メンタルヘルスケアの研修も実施している。 ・福祉機器を積極的に取り入れている。			3					8.8																													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート)の公正な待遇を行っている。 ・キャリアパスの制度を設けている。					5.5			8.5		10.2 10.3																											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間内に仕事が終わるように業務効率化と体制作りを行い、ノー残業を推進している。 ・有給休暇の取得奨励を実施し、家庭と仕事の両立に繋がるよう時間単位休暇制度を導入している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3																											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・月に1回スキルアップ研修を実施し、色々な角度から教育に繋げている。 ・研修の情報提供と必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を推奨している。				4	5.5			8	9																												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・従業員の健康維持向上を呼びかけている。			3					8									17																				
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年年齢を60歳から65歳に引き上げ、現在65歳以上の高齢者も再雇用中である。十分に活躍できる仕事内容と環境を整えている。 ・子どもが小さい従業員には時短勤務ができる体制を構築している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7																					
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・在宅勤務ができる管理体制を実施している。 ・会議や委員会・研修参加等はウェブ(zoom会議)でも行っている。 ・感染対策委員会を設置し、感染対策を実施している(マニュアルも作成済である)。			3					8	9.1		11	12																									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ICTリーダーに加えDX推進チームを組成し、ICTを活用した業務の効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12																									
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12																								

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気やガソリンの使用料を算出し、職場の節電に取り組んでいる。 ・事務所にLEDを使用している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握している。 ・社用車にハイブリッド車を使用している。毎月、車輛毎に走行距離を出し、走行距離とCO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・事務所にLEDを使用している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、レジ袋使用削減のため買い物時はエコバッグを使用している。 ・アルミ缶はまとめてリサイクルセンターに持参している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を推進している。 ・廃材を使って活動や物作りに繋げている。(廃材→積み木などに)									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・雨水タンクを設置している。 ・事業所全体で節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・ダンボールや牛乳パック等を使って作品作りに繋げている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事業所の外に野菜や花などを植え、緑化活動を行っている。 ・地域公園の除草ボランティア(行政の委託事業)に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:株式会社シンパクト

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・リスク対策委員会を設置し、サービス提供時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・サービスの質を確保するため、相談窓口の設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を聞き、共有している。送迎時の情報共有も実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事業所内において、誰もが分かりやすいような表示・運動機械の呼び方を行っている。研修等を行い、誰もが生活しやすい環境作りに取り組んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・できる限り地域の店舗から県内で生産された食材を購入し、食事やおやつ作りにおいて優先的に利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・認知症の方も過ごしやすい地域づくり活動の一環として、認知症サポーター養成講座を行っている。 ・認知症の人を支えるチームオレンジに参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・月に1回、朝から地域清掃を実施している。 ・地域の高齢者の集いや体操等の場に参加している。 ・運営推進会議では地域の方にも参加していただいている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に防災訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・防火管理者のスタッフを配置している。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs委員会を立ち上げ、SDGsの普及啓発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・実習生の受け入れを実施している(リハビリや介護・看護学校の学生ほか)。 ・地元の中学生や支援学校(高校生)などの職場体験を受け入れている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の合同就職説明会や(専門)大学の就職ガイダンスに参加している。 ・学生の見学会を随時行っている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2			12	13	14	15	

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3